

敢闘賞 受賞

西日本で唯一の入賞者／九州勢として10年ぶりの快挙



茶の間

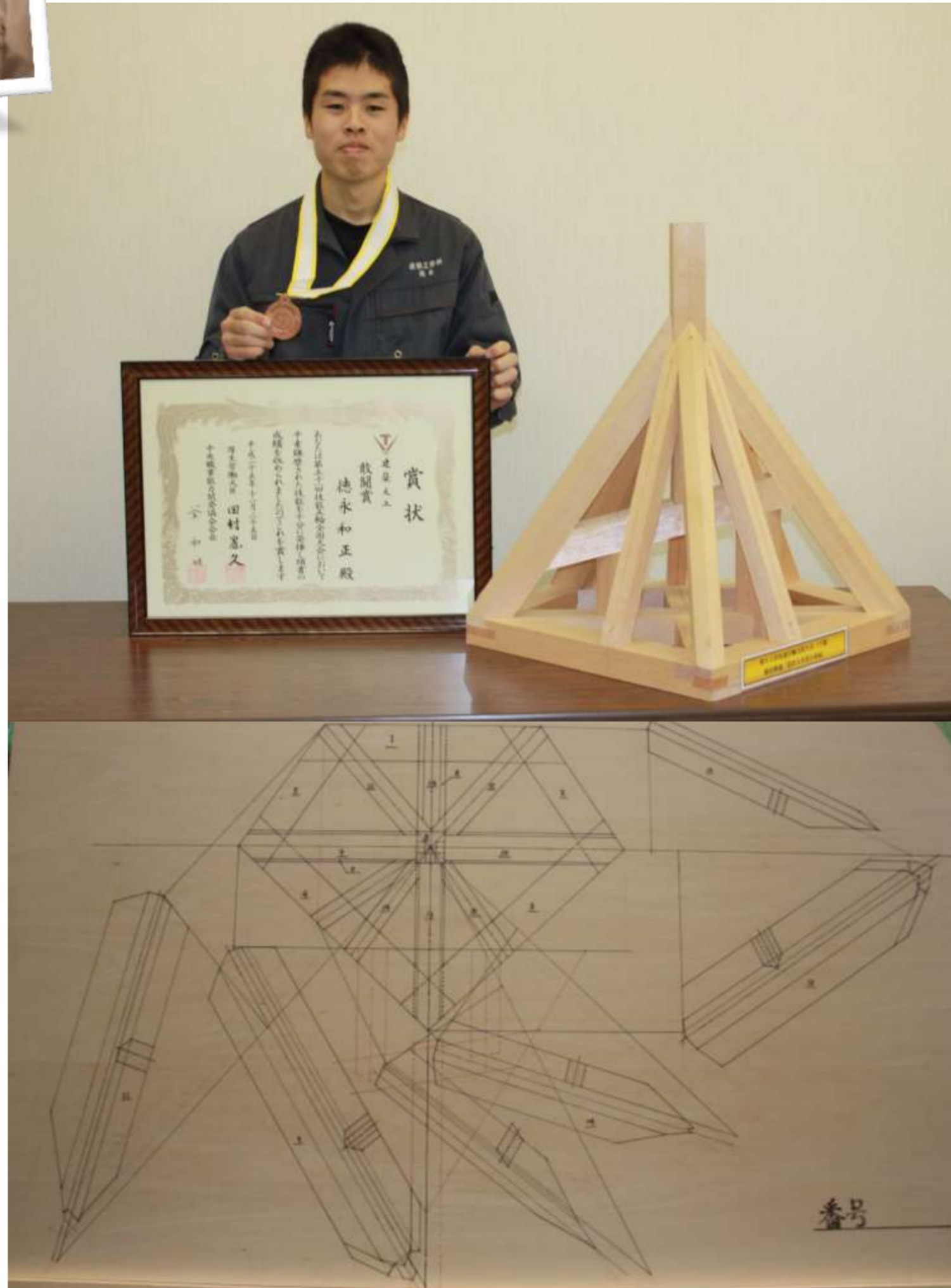
宮之城高等技術専門校
建築工学科2年の徳永
正さん(19)の写真は、
千葉県などで11月末あ
った技能五輪全国大会建
築大工部門で上位3賞に次
ぐ敢闘賞を勝ち取った。

「練習してきて
よかった。本当
にうれしい」と
笑顔を見せた。
種子島中央高

技能五輪で敢闘賞

校時代から、「大工にな
る」と決めていた。当時
から、技能五輪は目標で
憧れの大会だった。県代
表に選ばれてからは、土
日返上で練習に励んだ。
建築大工部門には全国
から86人が出場。開始後
に道具の使用基準変更を
知るハプニングもあった
が、付き添い教諭の交渉
で使用可能に。作品は完
成したが、納得いかない
出来に「賞はない」と諦
めたという。同校の同部
門入賞は初。県勢11年ぶ
り、九州でも10年ぶり
という快挙だった。

(中野督子)



技能五輪全国大会で敢闘賞を受賞した徳永正選手(左から2人目)＝13日、鹿児島県庁



徳永さん入賞報告 鹿児島県庁

11月下旬、千葉県な
どで開かれた第51回技
能五輪全国大会の建築
大工部門で、上位3(金
銀銅)賞に次ぐ敢闘賞
に輝いた宮之城高等技
術専門校の徳永正選
手(19)が13日、鹿児島
県庁に入賞報告に訪れ
た。

23歳以下で競う同大
会。同部門の県勢入賞
は11年ぶり。徳永さん
は「屋根の模型作りで
は緊張し、練習通りと
はいかなかったので入
賞には驚いた。指導教
諭に感謝している」と
話した。

南種子町出身で幼い
頃から大工になるのが
夢だったという徳永さ
んは、大会前日、東京
の建築会社の内定を受
け、来年4月から東京
で働く。対応した田中
和彦商工労働水産部長
は「若い技能者の活躍

全国技能五輪 建築大工部門で敢闘賞

の場がある東京で腕を
磨いて」と激励した。

敢闘賞受賞

徳永正さん



上村先生とメダルを手にする徳永さん(右側)

11月22日から25日に千葉県幕張メッセで開催された「第51回技能五輪全国大会」に宮之城高等技術専門校から4名参加し、建築大工部門に出場した徳永正さんが敢闘賞に輝きました。

同校の同部門への挑戦は7度目で、今回初めて入賞。また鹿児島県では11年ぶり、九州勢としては10年ぶりで、西日本で唯一の入賞者となりました。

徳永さんは「今まで練習してきたよかったです。1位・2位の選手とは(技術の)差があったので、残りの訓練生活で技を磨いていきたいです」と話してくれました。

